



## 社会イノベーターとグローバルに社会を見る

本年度揺るぎない資産確立委員会では「社会イノベーター」をテーマに、30年目を迎えた大阪青年会議所の継続事業であるTOYP事業及びOSAKAキャッスル☆ハッスル!!内において社会イノベーションフォーラム事業を行いました。私たち日本人は2011年3月11日に発生した東日本大震災を決して忘れてはなりません。年齢・性別・地位に関係なく襲い掛かる大地震・大津波。一瞬にして失われた多くの尊い命は、私たちに「今こそ、この苦難を国民が一丸となって乗り越え、さらに素晴らしい国へと生まれ変わらなければならない」という想いを持たせてくれました。

社会的な問題をビジネス的な手法を使って解決を行う「社会イノベーター」がこれからの大坂そして日本を牽引する存在であると確信を持って訴え続けて参りました。2011年度のTOYPにおいても、海外から傑出した社会イノベーターを招聘し、日本の社会イノベーター及び学生との交流を深めることなど、グローバルな視点で社会の問題は解決すべきであると結論を見出せました。

未来の日本を背負う若手社会イノベーターの皆様と共に、日本、世界で起きている社会的課題を共有し合い、そして、我々が解決すべきこれらの課題を克服し、未来を創る当事者としての責任を全うすることがからの日本や世界との良好な関係をも創造することが出来ると確信しております。

また、社会イノベーションフォーラムにおいては、社会を変革するためには、身近な問題を社会全体で考え、そして自分に出来ることを各々が努力し、そしてそれを積み重ねて達成できると感じて戴きました。社会全体から一個人を見つめ直す機会となったと確信させて頂きました。



委員長 北野 嘉一  
Yoshiichi Kitano

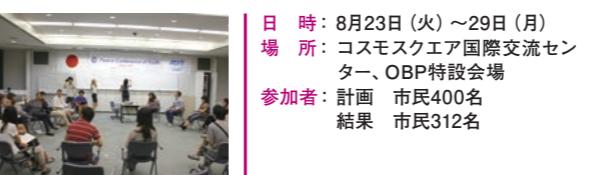


## 世界連携推進委員会

Global Cooperation Promotion Committee

### 委員会基本方針

私たちは、歴史の流れと世界の広がりからなる物語の一員であることを自覚し、為すべきことを為すという気概を持ち、人類共通の目的を共有し、信念を持って輝く未来のために新たな一步を刻み続ける人びとをまちから世界へと送り出す確固たる礎を築き上げます。



日 時：8月23日（火）～29日（月）  
場 所：コスモスクエア国際交流センター、OBP特設会場  
参 加 者：計画 市民400名  
結果 市民312名



日 時：6月11日（土）  
場 所：森ノ宮ピロティホール  
参 加 者：計画 1000名（市民500名、講師2名、JCメンバー498名）  
結果 732名（市民397名、講師2名、JCメンバー333名）

## STAFF

委員長	副委員長	委員	奥野 正己	小林 洋子	田中 利和	西山 茂	堀江 雄一郎	山本 嘉貴
北野 嘉一	青山 修司	岩出 和哲	奥野 果瑞宮	佐々一樹	津守 克洋	早川 久美	前田 征道	山本 栄克
幹 事	岡田 智文	于 敦彦	小田 和幸	佐々木 雅蓮	道風 真里子	林本 大	松下 正平	山本 真基子
荒木 清樹	河野 尚樹	上島 明	小野山 匠海	信田 晴	富田 浩崇	原田 智子	丸山 浩介	横野 智彦
昭野 元宏	竹内 健祐	江口 雄三	梶川 健介	白川 謙三	中井 章裕	東川 勝	光枝 良明	
田中 大介 (10)	森下 雄司	延命寺 健志	加納 琢也	田尾 耕太郎	中居 由男	平松 知也	南 収平	
中村 宜嗣		岡島 真澄	久我 隆一	田中 大介 (09)	永田 弘光	深井 光雄	森田 紀美	
		小川 孝史	小池 竜平	田中 崇公	中村 義毅	福地 真也	山田 英範	



## PCY事業の企画と実施

世界 11 力国から 24 名の学生を集め、世界平和の為に自分たちに何ができるのかを「世界の貧しい国の水問題」に絞り語り合い、アクションプランを作成、既に平和の為に行動している講師をお呼びして一般に公開したカンファレンスでアクションプランを発表致しました。

【工夫した点】2010 年 PCY メンバーにもパーティの企画やディスカッションのアシスタントとして参画してもらい、JC メンバーや 2011 年 PCY メンバーとの交流・関係構築を図り、事業の円滑な運営と成功に繋げた。ビースカンファレンス会場において、PCY の協力団体の紹介ブースを設営、PCYへの協力者、興味を持つ人を増やしました。



## OJCフォーラムの実施

『未来創造フォーラム』の開催

アースマラソンで世界一周してきたばかりの間寛平さんと企業として社会貢献を実践している日本ボリグールの小田兼利会長を講師にお迎えし「未来創造フォーラム～世界と日本のために私たちができること～」を開催、世界の現状を知り、恵まれた国日本に住む私たちにも世界で苦しむ人たちのために何か出来ることを考え行動する意欲を醸成しました。